

労働生産性の国際比較

(2005年版)

1)日本の生産性 OECD30カ国中第19位

2)製造業は24か国中第4位

3)90年代後半以降の上昇率は主要先進7か国中第2位

財団法人 社会経済生産性本部
理事長 谷口恒明

社会経済生産性本部は2005年版「労働生産性の国際比較」をまとめた。昨年同様、OECDのデータによるOECD加盟国間の比較とともに、世界銀行などのデータによるOECD以外の国々との比較も行っている。労働生産性の測定は従来どおり購買力平価で評価したドル換算GDPを就業者で除している。また、製造業の労働生産性比較も行った。

主な結果は以下の通り。

- 1 2003年の日本の労働生産性(就業者1人当りの付加価値)は**56,608ドル**(787万円/購買力平価換算)で**OECD加盟30カ国中第19位**、**主要先進7カ国間では最下位**であった。日本の労働生産性は昨年(2002年/54,750ドル)より3.4%向上したものの、順位は昨年と変わらなかった。なお、第1位はルクセンブルグ(82,680ドル/1149万円)、第2位は米国(78,828ドル/1095万円)であった。
- 2 日本の**製造業**の労働生産性水準は24カ国中**第4位**であった。2003年の第1位はアイルランド、第2位は米国、第3位はルクセンブルグであった。なお、主要先進7カ国で見ると、米国に次ぐ第2位となっている。
- 3 1990年代後半以降(1995~2003年)の**労働生産性の上昇率**をみると、日本は年率平均1.5%。**主要先進7カ国中第2位**、世界72カ国中39位であった(世界銀行データによる)。同時期のアメリカは年率平均2.1%(主要先進7カ国でトップ)となっており、日米間の労働生産性格差ということでは、依然として拡大する傾向にある。
- 4 中国の労働生産性は、**8,660ドル**(2003年/世界銀行データによる購買力平価換算)で、日本の15%程度の水準だった。ただし、1990年代後半以降、中国の労働生産性上昇率は年率平均7.1%と極めて高い水準になっており、上昇率で見ると72か国中3位となっている。

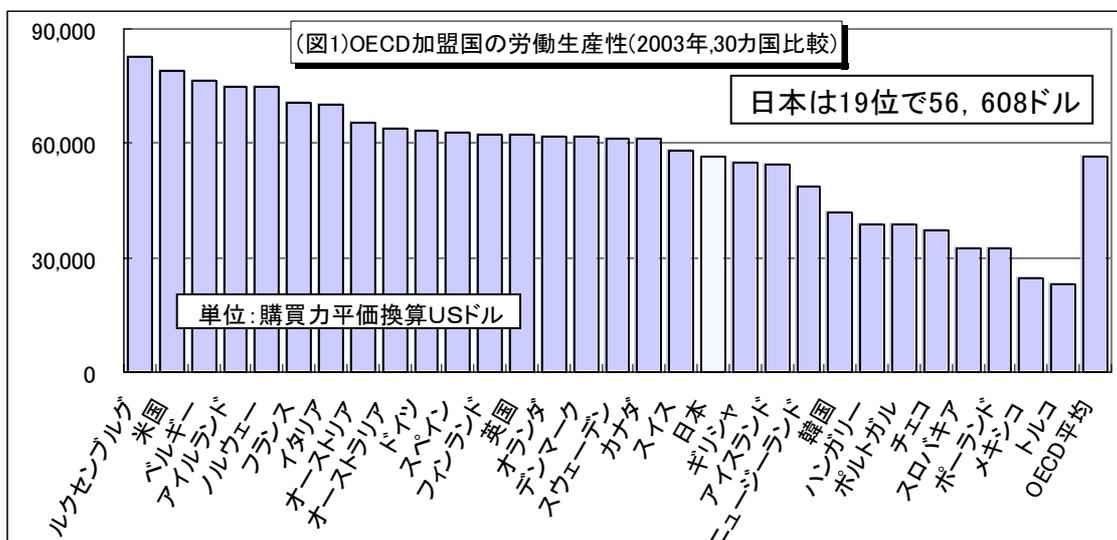
問い合わせ：総合企画部 木内・本間 TEL03-3409-1137

この調査は、OECDや世界銀行などのデータに基づいて世界各国の国民1人当り国内総生産(GDP per capita)、国民経済生産性(就業者1人当り国内総生産=GDP労働生産性)、主要先進7カ国の産業別・実質付加価値労働生産性、製造業の労働生産性水準などを比較したものである。本書ではGDP労働生産性を測定するにあたり、国別の付加価値をドルベースに換算して比較しているが、その際の各国の通貨の評価には名目購買力平価を用いている。2003年の購買力平価はOECD、世界銀行ともに1ドル=139円になっている。

購買力平価とは、ある組み合わせの一定の商品を購入するのに必要な両国の通貨の比率を平均化した値である。例えばマクドナルドのハンバーガーを例にとると、質量とも同じものが米国で1ドル、日本で100円で売られているとすれば、ハンバーガーの購買力平価は1ドル=100円となる。このような計測をGDPに対応すると考えられる商品群に適応したものである。したがって、米国の財やサービスの価格を基準に比較国の財やサービスの価格の高低を考慮した通貨の評価になる。

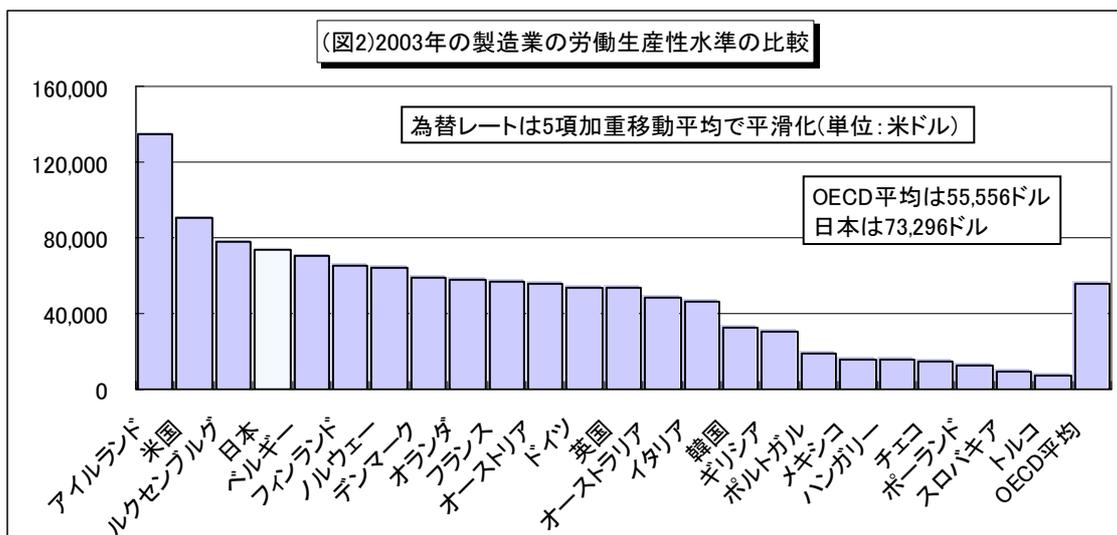
(1) 2003年の日本の労働生産性(就業者1人当りの付加価値)は**56,608ドル**(787万円/購買力平価換算)で**OECD加盟30か国中第19位**、**主要先進7カ国間では最下位**であった。日本の労働生産性は昨年(2002年/54,750ドル)より3.4%向上したものの、順位は昨年と変わらなかった。(本文p.9)

2003年の購買力平価で評価した日本のGDP労働生産性は56,608ドル(787万円)であり、OECD加盟30か国中第19位であった(図1)。第1位はルクセンブルグの82,680ドル(1149万円)、第2位は米国の78,828ドル(1095万円)、第3位はベルギーの76,379ドル(1062万円)であった。最新データで再計算した最近の日本のGDP労働生産性は、1998～1999年が第20位、2000年から2003年まで第19位であり、主要先進7カ国の間では1994年以降最下位となっている。



(2) 日本の製造業の労働生産性水準は24カ国中第4位であった。2003年の第1位はアイルランド、第2位は米国、第3位はルクセンブルグであった。なお、主要先進7カ国で見ると、米国に次ぐ第2位となっている。(本文p.40)

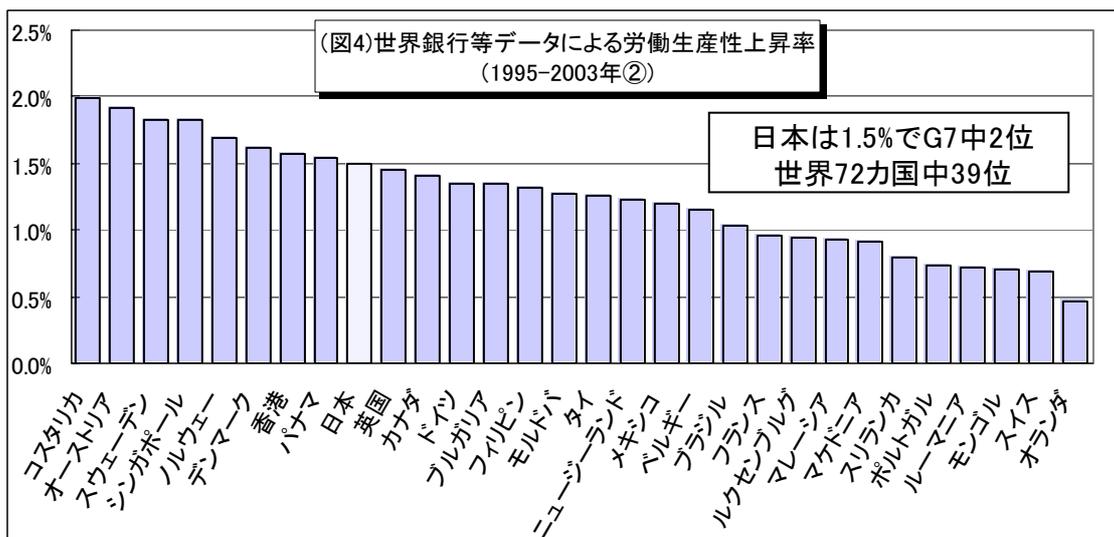
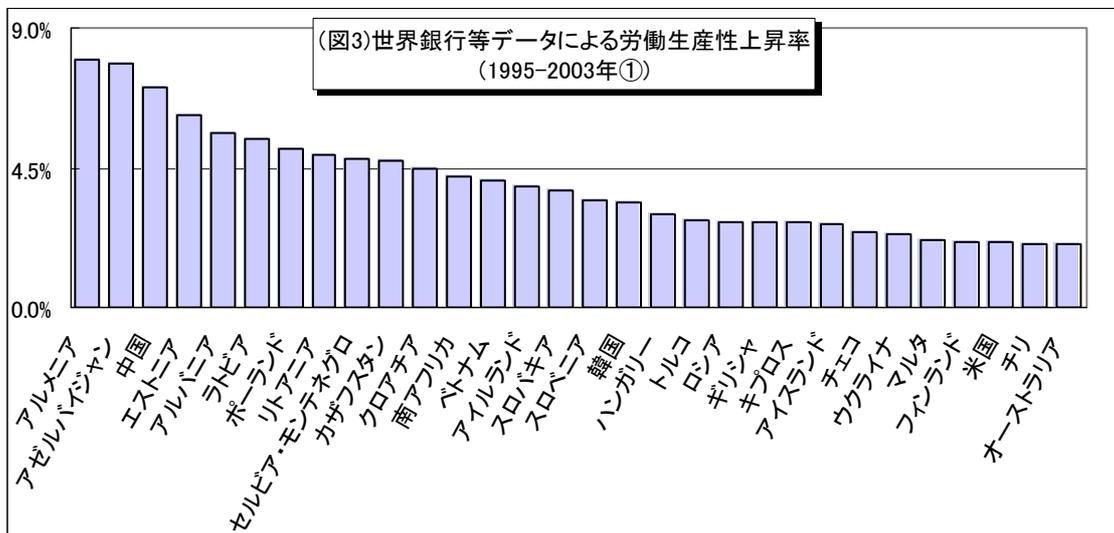
製造業の名目付加価値労働生産性を計測したところ、第1位はアイルランド(134,320ドル)で、抜群の水準であった。労働生産性水準でいえば米国(第2位)は90,120ドル、ルクセンブルグ(第3位)は77,951ドル、日本は73,296ドルである。ここでは、貨幣換算に5項加重移動平均によって平滑化した為替レートをを用いている。平滑化為替レートでは1ドル=120.02円なので、邦貨に換算すると、アイルランドは1612万円、米国は1082万円、ルクセンブルグは936万円、日本は880万円ほどになる。日本の最近の5年間を見ると、1999年から2000年にかけては(名目)労働生産性水準は増加したが、2000年から2002年は減少し続けている。2003年によややく反転し、4000ドル弱の増加を得ている。



(3) 1990年代後半以降(1995~2003年)の労働生産性の上昇率をみると、日本は年率平均1.5%。主要先進7カ国中第2位、世界72カ国中39位であった(世界銀行データによる)。同時期のアメリカは年率平均2.1%(主要先進7カ国でトップ)となっており、日米間の労働生産性格差ということでは、依然として拡大する傾向にある。(本文p.35)

ここでは、1990年代後半以降(1995~2003年)の労働生産性の上昇率を計測し、測定が可能な72カ国のランキングを作成した。計測にあたっては、世界銀行等のデータを用いて購買力平価で換算した。日本は主要先進7カ国中米国について第2位であり、1.5%の改善率となっている。これまで下位に低迷する時期が続いていたことを考えると、今回は近年にない

順位になっている。また、全世界でみると、72カ国中第39位であった。主要先進7カ国の労働生産性上昇率は米国の2.1%が最高でイタリアの0.4%が最低となっている。



(4) 中国の労働生産性は、8,660ドル (2003年/世界銀行データによる購買力平価換算) で、日本の15%程度水準だった。ただし、1990年代後半以降、中国の労働生産性上昇率は年率平均7.1%と極めて高い水準になっており、上昇率でみると72か国中3位となっている。(本文p.33)

世界銀行等のデータから作成したランキングをみると、中国の労働生産性は8,660ドル (120万円/購買力平価換算) で、2003年の労働生産性測定が可能な74カ国中第66位となっ

いる。日本と比べると、中国は日本の15%程度の生産性水準ということになる。中国が日本の労働生産性水準に20年で追いつくためには、20年間の日本の労働生産性上昇率をゼロとしても、年率平均で労働生産性を9.8%ずつ上昇していかなければならない計算になる。

中国の労働生産性上昇率は、1990年代後半以降(1995~2003年)でみると、年率平均で7.1%の伸び率である(前ページ図3参照/当該期の測定が可能なのは72カ国で、中国は第3位)。計算上、この調子で労働生産性が改善されていくと、10年後の労働生産性水準は現在の2倍の大きさになる。これまでの中国の効率水準はかなり劣位なものであり、改善の余地が非常に大きかったと考えられるため、改善を実行に移した結果がこの高い改善率に現れていると考えられる。

(表1)世界銀行等データによる労働生産性水準(2003年)

順	国名	グループ	労働生産性	順	国名	グループ	労働生産性
1	ルクセンブルグ	OECD高所得	94,930	38	クロアチア	欧州中央ア	27,456
2	アイルランド	OECD高所得	84,772	39	エストニア	欧州中央ア	26,873
3	米国	OECD高所得	78,627	40	チリ	ラテンカリブ	26,438
4	ノルウェー	OECD高所得	75,772	41	リトアニア	欧州中央ア	25,206
5	ベルギー	OECD高所得	73,062	42	コスタリカ	ラテンカリブ	25,122
6	イタリア	OECD高所得	70,630	43	マレーシア	東ア太平洋	23,877
7	フランス	OECD高所得	67,130	44	メキシコ	OECD高所得	23,616
8	オーストリア	OECD高所得	64,102	45	マケドニア	欧州中央ア	22,874
9	ドイツ	OECD高所得	63,912	46	トルコ	OECD高所得	22,123
10	デンマーク	OECD高所得	62,967	47	ウルグアイ	ラテンカリブ	21,932
11	オーストラリア	OECD高所得	62,367	48	ラトビア	欧州中央ア	20,530
12	カナダ	OECD高所得	61,409	49	チュニジア	中東北アフ	19,910
13	フィンランド	OECD高所得	60,357	50	ブラジル	ラテンカリブ	19,063
14	オランダ	OECD高所得	59,460	51	パナマ	ラテンカリブ	18,763
15	アイスランド	OECD高所得	57,880	52	ロシア	欧州中央ア	18,480
16	香港	他高所得	57,531	53	コロンビア	ラテンカリブ	17,635
17	スウェーデン	OECD高所得	56,584	54	ブルガリア	欧州中央ア	17,254
18	日本	OECD高所得	56,488	55	ルーマニア	欧州中央ア	16,233
19	英国	OECD高所得	56,086	56	ペルー	ラテンカリブ	14,936
20	スペイン	OECD高所得	55,117	57	カザフスタン	欧州中央ア	14,209
21	スイス	OECD高所得	53,760	58	タイ	東ア太平洋	13,583
22	ギリシャ	OECD高所得	53,642	59	エルサルバドル	ラテンカリブ	11,841
23	イスラエル	他高所得	51,342	60	ウクライナ	欧州中央ア	11,600
24	シンガポール	他高所得	51,161	61	モロッコ	中東北アフ	11,247
25	マルタ	中東北アフ	50,021	62	フィリピン	東ア太平洋	11,162
26	ニュージーランド	OECD高所得	46,911	63	アルバニア	欧州中央ア	10,681
27	スロベニア	他高所得	40,168	64	スリランカ	南アジア	10,419
28	韓国	OECD高所得	38,893	65	エクアドル	ラテンカリブ	10,172
29	ハンガリー	OECD高所得	37,661	66	中国	東ア太平洋	8,660
30	ポルトガル	OECD高所得	37,301	67	アゼルバイジャン	欧州中央ア	7,948
31	チェコ	OECD高所得	35,258	68	インドネシア	東ア太平洋	7,948
32	南アフリカ	サハラ以南	35,240	69	アルメニア	欧州中央ア	7,693
33	アルゼンチン	ラテンカリブ	34,248	70	グルジア	欧州中央ア	5,682
34	スロバキア	OECD高所得	33,439	71	モンゴル	東ア太平洋	4,952
35	ポーランド	OECD高所得	31,769	72	ベトナム	東ア太平洋	4,915
36	バルバドス	ラテンカリブ	31,703	73	モルドバ	欧州中央ア	3,149
37	モーリシャス	サハラ以南	28,493	74	ウガンダ	サハラ以南	3,106

1)単位 世界銀行購買力平価換算USドル

※世界銀行データによる労働生産性とOECDデータによる労働生産性では、数値が多少異なることに注意を要する。これは、労働生産性計測の元となる購買力平価換算GDPが世界銀行とOECDで異なるためである。例えば、2003年の日本のGDPは、世界銀行によると3,567十億USドルであるのに対し、OECDでは3,575十億USドルとなっており、両者に若干の違いが見られる。

(付表1)OECD加盟国の労働生産性(2001-2003年)

順	労働生産性 (2001年)		労働生産性 (2002年)		労働生産性 (2003年)	
	国名	値	国名	値	国名	値
1	ルクセンブルグ	78,921	ルクセンブルグ	80,802	ルクセンブルグ	82,680
2	ノルウェー	73,525	米国	75,792	米国	78,828
3	米国	72,948	ベルギー	73,717	ベルギー	76,379
4	ベルギー	70,443	アイルランド	72,995	アイルランド	74,796
5	イタリア	68,823	ノルウェー	72,689	ノルウェー	74,691
6	アイルランド	68,283	フランス	69,934	フランス	70,732
7	フランス	68,016	イタリア	69,711	イタリア	69,981
8	オーストリア	61,760	オーストリア	64,263	オーストリア	65,562
9	カナダ	59,258	ドイツ	61,852	オーストラリア	63,732
10	ドイツ	59,221	オーストラリア	61,025	ドイツ	63,458
11	オランダ	58,956	フィンランド	60,645	スペイン	63,020
12	オーストラリア	58,881	スペイン	60,359	フィンランド	62,501
13	デンマーク	58,161	英国	60,231	英国	62,075
14	フィンランド	58,123	オランダ	60,225	オランダ	61,607
15	スウェーデン	57,339	カナダ	60,002	デンマーク	61,497
16	英国	56,823	スウェーデン	59,202	スウェーデン	61,329
17	スペイン	56,731	デンマーク	59,052	カナダ	61,003
18	スイス	53,605	スイス	57,150	スイス	57,845
19	日本	52,869	日本	54,750	日本	56,608
20	アイスランド	52,465	アイスランド	52,943	ギリシャ	54,771
21	ギリシャ	47,796	ギリシャ	52,051	アイスランド	54,436
22	ニュージーランド	45,624	ニュージーランド	46,972	ニュージーランド	48,619
23	韓国	37,890	韓国	39,634	韓国	41,668
24	ポルトガル	36,474	ポルトガル	38,148	ハンガリー	38,976
25	ハンガリー	34,883	ハンガリー	37,697	ポルトガル	38,664
26	チェコ	33,398	チェコ	35,275	チェコ	37,277
27	スロバキア	28,910	スロバキア	31,666	スロバキア	32,560
28	ポーランド	28,805	ポーランド	30,907	ポーランド	32,297
29	メキシコ	23,978	メキシコ	24,224	メキシコ	24,742
30	トルコ	19,113	トルコ	20,771	トルコ	22,772
	OECD平均	52,734	OECD平均	54,823	OECD平均	56,504

1)単位:購買力平価換算USDル

2)資料 OECD: National Accounts of OECD Countries Vol.1 2005 Edition. Labour Force Statistics
2004 Edition, 他.

(付表2)製造業の名目労働生産性(2001-2003年)

順	労働生産性 (2001年)		労働生産性 (2002年)		労働生産性 (2003年)	
1	アイルランド	105,651	アイルランド	125,952	アイルランド	134,320
2	米国	75,522	米国	80,636	米国	90,120
3	スイス	69,885	スイス	73,952	ルクセンブルグ	77,951
4	日本	69,530	日本	69,500	日本	73,296
5	ルクセンブルグ	65,974	ルクセンブルグ	67,388	ベルギー	70,300
6	ノルウェー	61,798	ベルギー	65,411	フィンランド	65,494
7	ベルギー	61,239	スウェーデン	63,466	ノルウェー	64,102
8	スウェーデン	59,819	ノルウェー	63,217	デンマーク	58,912
9	フィンランド	59,641	フィンランド	59,975	オランダ	58,279
10	フランス	53,319	フランス	54,938	フランス	56,893
11	カナダ	53,288	オランダ	53,692	オーストリア	55,913
12	オランダ	51,312	デンマーク	53,312	ドイツ	53,800
13	オーストリア	50,063	オーストリア	52,183	英国	53,222
14	英国	49,493	英国	50,579	オーストラリア	48,100
15	デンマーク	48,266	ドイツ	49,575	イタリア	46,834
16	アイスランド	47,788	イタリア	44,727	韓国	32,756
17	ドイツ	47,538	アイスランド	44,087	ギリシア	30,752
18	イタリア	43,975	オーストラリア	41,860	ポルトガル	19,268
19	オーストラリア	40,113	スペイン	35,449	メキシコ	16,061
20	スペイン	33,933	韓国	31,017	ハンガリー	15,841
21	ニュージーランド	30,582	ギリシア	26,315	チェコ	15,115
22	韓国	29,054	ポルトガル	17,926	ポーランド	12,523
23	ギリシア	24,281	メキシコ	15,538	スロバキア	9,711
24	ポルトガル	16,698	ハンガリー	12,878	トルコ	7,281
25	メキシコ	14,725	チェコ	12,766	カナダ	
26	ハンガリー	11,592	ポーランド	11,377	アイスランド	
27	チェコ	11,380	スロバキア	8,637	ニュージーランド	
28	ポーランド	10,144	トルコ	5,882	スペイン	
29	スロバキア	8,968	カナダ		スウェーデン	
30	トルコ	5,508	ニュージーランド		スイス	
	OECD平均	49,119	OECD平均	50,787	OECD平均	55,556

1)単位： 5 項加重移動平均で平滑化した為替レート換算USドル

2)資料 OECD : National Accounts of OECD Countries Vol.1 2005 Edition. Labour Force Statistics
2005 Edition, 他.

(付表3)世界銀行等データによる労働生産性上昇率(1995-2003年)

順	国名	グループ	1995-2003年	順	国名	グループ	1995-2003年
1	アルメニア	欧州中央ア	8.0%	37	香港	他高所得	1.6%
2	アゼルバイジャン	欧州中央ア	7.9%	38	パナマ	ラテンカリブ	1.5%
3	中国	東ア太平洋	7.1%	39	日本	OECD高所得	1.5%
4	エストニア	欧州中央ア	6.2%	40	英国	OECD高所得	1.5%
5	アルバニア	欧州中央ア	5.6%	41	カナダ	OECD高所得	1.4%
6	ラトビア	欧州中央ア	5.4%	42	ドイツ	OECD高所得	1.4%
7	ポーランド	OECD高所得	5.1%	43	ブルガリア	欧州中央ア	1.3%
8	リトアニア	欧州中央ア	4.9%	44	フィリピン	東ア太平洋	1.3%
9	セルビア・モンテネグロ	欧州中央ア	4.8%	45	モルドバ	欧州中央ア	1.3%
10	カザフスタン	欧州中央ア	4.7%	46	タイ	東ア太平洋	1.3%
11	クロアチア	欧州中央ア	4.5%	47	ニュージーランド	OECD高所得	1.2%
12	南アフリカ	サハラ以南	4.2%	48	メキシコ	OECD高所得	1.2%
13	ベトナム	東ア太平洋	4.1%	49	ベルギー	OECD高所得	1.2%
14	アイルランド	OECD高所得	3.9%	50	ブラジル	ラテンカリブ	1.0%
15	スロバキア	OECD高所得	3.8%	51	フランス	OECD高所得	1.0%
16	スロベニア	他高所得	3.4%	52	ルクセンブルグ	OECD高所得	0.9%
17	韓国	OECD高所得	3.4%	53	マレーシア	東ア太平洋	0.9%
18	ハンガリー	OECD高所得	3.0%	54	マケドニア	欧州中央ア	0.9%
19	トルコ	OECD高所得	2.8%	55	スリランカ	南アジア	0.8%
20	ロシア	欧州中央ア	2.8%	56	ポルトガル	OECD高所得	0.7%
21	ギリシャ	OECD高所得	2.8%	57	ルーマニア	欧州中央ア	0.7%
22	キプロス	他高所得	2.7%	58	モンゴル	東ア太平洋	0.7%
23	アイスランド	OECD高所得	2.7%	59	スイス	OECD高所得	0.7%
24	チェコ	OECD高所得	2.4%	60	オランダ	OECD高所得	0.5%
25	ウクライナ	欧州中央ア	2.4%	61	イタリア	OECD高所得	0.4%
26	マルタ	中東北アフ	2.2%	62	インドネシア	東ア太平洋	0.3%
27	フィンランド	OECD高所得	2.1%	63	ペルー	ラテンカリブ	0.2%
28	米国	OECD高所得	2.1%	64	イスラエル	他高所得	0.1%
29	チリ	ラテンカリブ	2.0%	65	モロッコ	中東北アフ	0.0%
30	オーストラリア	OECD高所得	2.0%	66	エルサルバドル	ラテンカリブ	-0.1%
31	コスタリカ	ラテンカリブ	2.0%	67	エクアドル	ラテンカリブ	-0.1%
32	オーストリア	OECD高所得	1.9%	68	スペイン	OECD高所得	-0.2%
33	スウェーデン	OECD高所得	1.8%	69	ウルグアイ	ラテンカリブ	-0.2%
34	シンガポール	他高所得	1.8%	70	コロンビア	ラテンカリブ	-0.4%
35	ノルウェー	OECD高所得	1.7%	71	バルバドス	ラテンカリブ	-0.5%
36	デンマーク	OECD高所得	1.6%	72	アルゼンチン	ラテンカリブ	-1.7%

1)単位 実質労働生産性年率平均上昇率

2)資料 世界銀行:2005World Development Indicators, OECD:Labour Force Statistics 2005 Edition, アジア開発銀行:Key Indicators 2005, その他

3)略称 東ア太平洋=東アジア・太平洋沿岸諸国, 欧州中央ア=欧州中央アジア, ラテンカリブ=ラテンアメリカ・カリブ沿岸諸国, 中東北アフ=中東・北アフリカ, サハラ以南=サハラ以南のアフリカ, OECD高所得=OECD加盟の高所得国, 他高所得=その他の高所得国.